





備中国分寺跡建物 庫裏, 裏書院, 経蔵



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	びっちゅうこくぶんじあとたてもの くり, うらしょいん, きょうぞう
所在地	総社市上林
指定年月日	昭和49年5月31日
解説	<p>経蔵・裏書院・庫裏からなる。いずれも享保年間(1617～1736)の建築とされる。経蔵は敷地の東南隅にあり、宝形造り、本瓦葺き。平面は4.3m四方の正方形。漆喰壁[しっくいかべ]。裏書院は敷地の北側に位置し、切妻造り、本瓦葺き、二階建て。外は土蔵造りながら内部は書院造り。江戸期の藩主蒔田[まいた]氏が西国大名を接待した場所といわれる。庫裏は入母屋造り、本瓦葺き、二階建て。客間・台所・寝所に分かれる。国分寺は鎌倉期以降廃寺となり、宝永年間(1704～1711)に惣持院万勝寺の増鉄住職が浅尾藩主蒔田氏の援助を得て、整備したという。</p>
アクセス方法	JR総社駅から車で10分、総社山手循環バス「吉備路もてなしの館」バス停下車
公開状況	外観のみ
設備	<p>風土記の丘駐車場利用可能</p> <p>  駐車場   障害者用駐車場   トイレ   障害者用トイレ                 </p>
備考	